

令和3年度
施政方針

松島町

目 次

1	総論	1
2	心地よく元気な暮らしを支えるまちづくり	3
	土地利用／河川・港湾／公園・緑地／住宅／上水道／下水道 道路／公共交通／情報・通信		
3	人・まち・自然、ふれあい安らぐまちづくり	4
	自然環境保全／公害／交通安全／消防・防災／防犯		
4	心も体もすこやかに笑顔あふれるまちづくり	5
	保健・医療／高齢者福祉・介護予防／児童福祉／障がい者(児)福祉 ボランティア／社会保障		
5	自然と歴史に学び、豊かさを育み広げるまちづくり	7
	学校教育／生涯学習／スポーツ振興／文化財保護		
6	おもてなしの心を育み、愛されるまちづくり	9
	国際観光／交流事業／文化遺産		
7	豊かな地域で仕事・暮らしがつむぎ合う心かようまちづくり	11
	起業・創業／観光業／農林業／水産業／商工業／定住促進 住民参加／行財政／広域行政		
8	令和3年度当初予算内訳	13

施政方針

令和3年第1回松島町議会定例会に、令和3年度予算案並びに諸議案を御提案申し上げ、御審議をいただくに当たり、町政運営の所信の一端と施策の概要を申し述べ、議員各位並びに町民各位の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

まず、東日本大震災の発災から間もなく10年が経過し、国が復興の総仕上げと位置付ける「第1期復興・創生期間」が今月末で終了となります。

「創造的復興」を掲げ、長年取り組んでまいりました各種復興事業につきましては、これまでの着実な復興の歩みが実を結ぶべく、町事業が概ね完了する見込みとなっております。

これもひとえに、議会をはじめ町民の皆さまの御理解と御協力はもとより、全国の自治体から派遣いただいた皆さまの懸命な取組や多くの企業の皆さまからの温かい御支援など、各方面からの多大なるお力添えの賜物であると、改めて心より感謝申し上げます。

今後は、「震災復興」から「地方創生」へと主軸を移しながら、「活力あるまち・松島」の実現に向け、鋭意努めてまいります

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、地域における住民の暮らしや経済活動に深刻な影響を及ぼした苦難の一年でありました。

本町におきましても、閉塞感と緊張感の中、町民の皆さまをはじめ、町に関わる多くの方々に、常に感染予防、感染拡大防止を心がけていただきながら、行政として住民生活や町内各事業者等の状況変化などをつぶさに調査するとともに、基本的な感染症対策を徹底しつつ、経済活動の下支えを目的として、感染拡大防止、町民の生活支援、町の経済回復に重点を置き、「いのちを守る」「くらしを守る」「未来を守る」の3つの基本方針の下、国による新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を財源としながら、様々な対策を講じてまいりました。

さらに、令和3年度前半には「新型コロナウイルスワクチン」の住民接種の開始が予定されておりますことから、複数の課で横断的に組織する「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を設置し、このワクチンを希望する町民すべてに速やかに接種できますよう、来年度における最大の責務として対応に努め、このコロナ禍において、本町に関わるすべての人々の「いのちとくらし」、そして「まちの未来」を守ることに引き続き全力を尽くしてまいるとともに、「地方の声」を国や県に届けながら、様々な支援についても強く要望してまいります。

さて、このような中、令和3年度は東北デスティネーションキャンペーンや、昨年延期された東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。

このことは、感染拡大防止等に伴う各種イベントの中止や観光の自粛などにより、大きな打撃を受けている松島観光においては、特にインバウンド需要が期待できない現状において、国のGoToキャンペーン以上の大きなチャンスであり、観光入込の回復、延いては経済回復に資するものでありますことから、より多くの観光客を呼び込むことができるよう、市町村の枠を越えて近隣自治体等と広域的な連携を図りながら、本町の強みである景観や歴史、文化を最大限に生かし、体験型コンテンツなどの魅力を広く発信してまいりたいと考えておりますので、議員各位におかれましても更なるお力添えをいただけますよう、お願い申し上げます。

最後に、令和3年度におけます本町の財政の見通しであります。感染拡大の影響や従来からの生産年齢人口の減少等により、町税の増収が期待できないことに加え、感染症対応に係る新たな財政需要とともに、昨年度と同様に人件費や社会保障費、施設の維持管理や改修等に伴う義務的経費、經常経費が増加傾向にありますことに加え、認定こども園建設など複数年に渡る大規模事業の実施等に伴い、令和3年度も多くの予算の投入が見込まれますことから、依然として大変厳しい財政状況にあります。

このような状況の下、令和3年度の予算規模は、前年度と比較して、一般会計は35.2%の減、下水道事業特別会計は45.9%の減、そ

の他の特別会計は0.5%の増、水道事業会計は42.8%の減で編成しております。

将来世代に負担を先送りしないためにも、長期的なウィズコロナ対応、終息後のアフターコロナをしっかりと見据え、賢い縮小、賢い支出に努めながら、効率的かつ効果的な行財政運営を今後も徹底し、町民の皆さまが将来に希望を持ち、安心して暮らせる松島町の実現に向け、全力を尽くしてまいります。

つづきまして、令和3年度の主な施策につきまして、長期総合計画の施策体系に基づき、御説明申し上げます。

心地よく元気な暮らしを支えるまちづくり

土地利用につきましては、明神地区地区整備計画に続く新たな地区計画策定について、調査及び検討を行いながら、引き続き宮城県との協議を進めてまいります。

河川・港湾につきましては、高城川・田中川・新川の改修及び河道内の支障木伐採や堆積土砂の撤去について、引き続き宮城県へ要望してまいります。

上水道につきましては、水質や放射性物質検査を徹底し、水質基準を維持するとともに、配水管の布設替えなどの更新工事を引き続き進めてまいります。

下水道につきましては、汚水処理施設の整備について、浄化センターの長寿命化計画に基づく改築工事を引き続き実施し、老朽化した施設機器の更新を行うとともに、下水道未普及地区の解消を目的として、初原地区などの汚水管渠築造工事を引き続き進めてまいります。

道路につきましては、町道の整備推進について、高城町駅前整備として駐輪場及び乗降場の整備を実施し、利便性の向上を図ってまいります。

また、県道の整備促進について、初原バイパスの国道45号根廻交差点までの延伸と県道仙台松島線の桜渡戸・初原地区における拡幅や歩道整備等の実現に向けて、引き続き宮城県へ要望してまいります。

さらに、国道の整備促進につきましては、国土交通省による国道45号の歩道整備について、松島第一小学校から松島駅前までの整備を含め、早期完成に向けて調整を図ってまいります。

公共交通につきましては、町民が利用しやすい町営バス運行と効率的な運行形態の構築を図るため、路線及びダイヤ並びに運営手法の見直しを進めてまいります。

また、松島海岸駅バリアフリー設備整備事業について、令和3年度内の新駅舎完成に向け、引き続き国や宮城県とともに事業費の補助による支援を行ってまいります。

情報・通信につきましては、町の魅力を効果的に発信するため、引き続きSNS等の活用を図るとともに、LINE公式アカウントの運用開始に向けた調整を進めてまいります。

人・まち・自然、ふれあい安らぐまちづくり

自然環境保護につきましては、松くい虫防除事業として、地上や空中から薬剤散布を行うとともに、被害拡大防止のため、松くい虫やナラ枯れ被害木の早期伐倒を行い、森林の保全を図ってまいります。

また、植樹した抵抗性松の育成のための下刈りを継続し、森林の育成、景観保持に努めてまいります。

環境衛生対策の充実につきましては、ごみの減量化や再資源化の推進を図るため、宮城東部衛生処理組合並びに構成自治体により、継続して調査研究を行い、循環型社会形成を推進してまいります。

また、各行政区等の協力により実施している町内一斉清掃活動を通し、住民の清掃意識の向上を図るとともに、「公衆衛生組合連合会」及び「環境美化推進員」との連携を密にし、不法投棄防止対策に努めてまいります。

交通安全につきましては、近年、交通事故件数が大きく減少していることから、引き続き関係機関と協力しながら、交通安全啓発活動の推進、交通事故防止に努めてまいります。

また、経年劣化したカーブミラーや停止線、区画線などの更新を行い、交通安全施設の適切な維持管理に努めてまいります。

消防・防災につきましては、見直しを進めている地域防災計画を踏まえ、地域の防災力を高めるとともに、総合的な防災対策の推進、消防体制の充実を図ってまいります。

また、感染症対策等を踏まえた避難所開設訓練を各地区で実施するなど、情勢に合わせた住民の参加型訓練を実施するとともに、自主防災組織活動の支援を継続してまいります。

消防団につきましては、火災だけでなく災害時にも大きな役割を担うことから、引き続き消防団員の確保に努めるとともに、常備消防の協力を得て、団員の規律や操法技術の向上を図り、消防団組織の強化に努めてまいります。

さらに、消防資機材や消防水利の計画的な更新を行い、地域防災力の中核として迅速な消防活動ができるよう努めてまいります。

また、避難施設等について、施設の有効利用や適切な維持管理に努めてまいります。

防犯につきましては、各地域の防犯指導隊への活動支援を継続し、連携及び情報の共有を図りながら、地域事情に合わせた活動支援を行うとともに、警察などの関係機関の協力の下、地域防犯活動の充実を図ってまいります。

心も体もすこやかに笑顔あふれるまちづくり

保健・医療につきましては、新型コロナウイルス感染症対策として、感染予防の普及・啓発に引き続き努めるとともに、町民の皆さまがワクチンを速やかに接種できるよう、相談体制の確保やワクチン管理、接種業務を着実に実施してまいります。

また、「健康ポイント事業」を新たに実施し、町民が運動や健診受診等の健康増進行動を実践した際にポイントを付与し、点数に応

じて記念品を贈ることで、「楽しみながら」「継続して」健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めてまいります。

母子保健につきましては、産婦健診及び産後ケア事業、オンライン相談事業を実施し、妊娠初期から周産期、子育て期まで、一人一人を大切にしたい、手厚く切れ目のない支援体制を拡充し、少子化が進む中でも安心して出産、育児ができるよう努めてまいります。

高齢者福祉事業につきましては、ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業や宅配夕食サービス事業等を引き続き実施し、関係機関と連携しながら高齢者の見守りや日常生活支援を継続してまいります。

また、感染拡大防止に配慮した敬老事業及び保健福祉センターの長期的かつ適正な管理運営を実施してまいります。

介護保険の運営につきましては、地域包括ケアシステムの推進、高齢者の介護予防、要介護状態の重度化防止を図るとともに、全戸に認知症の理解と対応方法、相談機関や利用できる医療・介護サービス等を紹介した「認知症ケアパス」を配布し、認知症総合支援対策を一層推進してまいります。

介護サービス事業につきましては、総合事業の対象者及び要支援認定者に対し、介護予防ケアマネジメント及び介護予防サービス計画を作成し、住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう継続的に支援してまいります。

児童福祉につきましては、「松島町子ども・子育て支援事業計画（第二期）」に基づいた施策を推進し、子どもが健やかに成長できるよう、子育て支援の充実に向けて引き続き取り組んでまいります。

保育所及び指定管理者制度を導入している児童館においては、感染症への対策を徹底しながら、安心して預けられる保育の提供と子どもが安全に楽しく過ごせる環境づくりに努めてまいります。

また、新たな幼児教育・保育施設につきましては、認定こども園基本計画で策定した造成及び建物の配置プランや認定こども園施設

整備に関する協定に基づき、事業の実施主体である松島町社会福祉協議会に対し、補助金の交付等必要な支援を行うとともに、協同で連携し取り組むことで施設の早期完成を目指し、町全体で安心して子育てできる環境整備を進めてまいります。

障がい者・障がい児福祉につきましては、「松島町障がい福祉計画（第6期）・松島町障がい児福祉計画（第2期）」に基づき、障がい者及び障がい児が必要とする障害福祉サービス等の提供体制の整備の充実を図り、自立と社会参加の実現を図ってまいります。

社会保障につきましては、国民健康保険制度において、新型コロナウイルス感染症における傷病手当金について、町独自の取組として、被用者のみならず、事業主についても給付対象として、引き続き行ってまいります。

さらに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、国保税の子どもの均等割についても全額減免を実施してまいります。

自然と歴史に学び、豊かさを育み広げるまちづくり

学校教育につきましては、松島町教育大綱及び松島町教育振興基本計画に基づき、「誇りと絆を育みしなやかに生きる松島人」をめざす姿とし、地域性など各校の実態を踏まえ、特色を生かした教育を引き続き推進するとともに、「地域とともにある学校づくり」に努めてまいります。

また、社会全体が、長期にわたるコロナ禍の中、相手を思いやりながら協働的な学び合いができる学校教育の意義を重視し、教育活動を行ってまいります。

英語教育につきましては、小中連携英語教育推進事業のこれまでの実績を生かし、各学校の英語教育に引き続き取り入れながら、児童生徒のコミュニケーション能力の育成に努めてまいります。

また、外国語指導助手を引き続き2名体制で小・中学校に派遣するとともに、幼稚園、保育所においても英語の遊びを取り入れ、幼少期から英語に親しむ活動を実施してまいります。

さらに、松島こども英語ガイド事業により、松島の子ども達が、町の魅力について誇りをもって国内外に伝えられる土壌を醸成してまいります。

心のケア・不登校対策につきましては、松島町子ども心のケアハウス事業において、学校生活に困難を抱える児童生徒に対し、学校復帰や自立に向け、学校及びスクールソーシャルワーカーとの連携を図りながら、必要な支援の充実を図ってまいります。

学校教育環境の整備につきましては、国が推進するGIGAスクール構想の下、これまで整備を進めてまいりました校内ネットワーク環境、児童生徒1人1台タブレット端末、大型モニター等のICT機器の効果的な活用を推進し、情報活用能力を育むことで、目まぐるしく変化する時代に対応できる子どもの育成に努めるとともに、情報機器を正しく安全に利用するための考え方を育む情報モラル教育についても取り組んでまいります。

また、教員のICT活用指導力の向上に向けた研修を実施し、ICT機器を効果的に活用した授業が行えるよう努めてまいります。

幼児教育の充実につきましては、学びの土台、基礎となる幼児期における教育の質の向上を図るため、松島町立幼稚園「元気力向上プログラム」を推進し、元気でのびのびとし、表情豊かな子どもの育成に努めてまいります。

学校給食につきましては、栄養バランスのとれた給食献立を提供し、地産地消の推進や質の高い食材の調達、児童生徒のニーズを反映した給食提供と食育指導の充実を努めてまいります。

生涯学習につきましては、引き続き家庭・地域・学校の協働による地域と一体になった教育活動を推進し、各種教室・講座の開催等を通じて生涯学習の振興を推進するとともに、松島の自然・歴史・文化等の魅力を発信し、地域に誇りを持てる人材の育成や環境の整備に努めてまいります。

また、放課後子ども教室では、学び支援事業と統合し、これまで

の実践で得た成果・課題を整理し改善を重ね、ALTの活用等「学び」の要素を取り入れて活動の充実を図り、地域住民の参画を得ながら児童の安全・安心な居場所づくりを継続してまいります。

さらに、ジュニア・リーダーによる地域活動等への参加や関係機関と連携した講演会の開催、秋田県にかほ市との中学生リーダー研修会の松島町開催を通して、青少年の健全な育成を推進・啓発してまいります。

芸術文化の振興につきましては、コロナ禍においても町民の芸術文化活動の充実を図るため、松島ふれあいコンサートの開催など指定管理者と連携し、新しい生活様式に則した感染症対策を講じた上で特色ある各種事業を実施してまいります。

スポーツ振興につきましては、昨年延期された東京2020オリンピックの聖火リレーが6月20日に本町を通過することから、本町のスポーツ活動の機運を高めるためにも、松島町体育協会を始めとした各種団体に運営等のボランティア協力をいただきながら、ミニセレブレーションの実施など、聖火リレーを盛大に開催できるよう準備してまいります。

文化財の保存及び活用につきましては、瑞巖寺防災設備改修事業に関する協力や特別名勝松島保存管理計画の改定に向けた見直し作業等を進めるとともに、「松島湾三町文化財展」など近隣自治体と連携した取り組みを進めてまいります。

おもてなしの心を育み、愛されるまちづくり

国際観光につきましては、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、国内外から訪れる観光客が安心して松島町に滞在し、観光を楽しめるよう、町が管理する観光施設での感染症対策を徹底するとともに、町内の観光事業者に対しても業種別ガイドラインに沿った運営を行っていただけるよう、適切な情報提供等に努めてまいります。

また、観光客誘致の強化につきましては、東北6県による「東北

「デスティネーションキャンペーン」が4月から開催されることに伴い、町内事業者や近隣自治体、宮城県等との連携を強化し、効果的な誘客事業を実施してまいります。

多島海の魅力の伝承につきましては、「世界で最も美しい湾クラブ」の加盟湾として、国連がかかげる「持続可能な開発目標」に関連する取り組みである「松島湾アマモ再生プロジェクト」や、湾の環境保全に関するPR活動を実施し、地域や観光客などが広く取り組みに参加いただけるよう働きかけながら、豊かで美しい松島湾を後世に継承できるよう取り組んでまいります。

国内外の交流を通じた松島の魅力発見につきましては、コロナ禍による往来制限等の解除後に、回復が予想されているインバウンドを含めた旅行需要を的確に取り込めるよう、引き続き町内の観光事業者や各種協議会、近隣自治体などと連携を図りながら、観光客誘致につながるよう努めてまいります。

地域間交流の推進につきましては、観光交流協定を結ぶ岡山県倉敷市及び塩竈市との合同プロモーションをはじめ、交流自治体で開催される行事において、松島の魅力を宣伝し、観光産業の回復を目指した情報発信に努めてまいります。

さらに、日本三景観光連絡協議会の天橋立及び宮島と連携を図り、日本三景の日に合わせたPRイベントやかき祭りでの交流PR事業を通じて相互間の観光交流を継続してまいります。

景観計画の推進につきましては、景観条例及び景観計画に基づく適切な誘導を行うとともに、景観重点地区内における景観整備事業補助金制度を継続し、景観形成に対する意識の醸成を図ってまいります。

文化遺産につきましては、「松島まるごと学」を通じて小中学生に町の歴史文化を伝えていくとともに、展示等を通じて、日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の情報発信に取り組んでまいります。

豊かな地域で仕事・暮らしが つむぎ合う心かようまちづくり

起業・創業支援につきましては、町独自の補助金により新規創業者を支援するとともに、事業継続のための経営相談や資金繰りなどについても、利府松島商工会や金融機関等と連携して支援してまいります。

観光業につきましては、松島観光協会をはじめ、町内の事業者や仙台市・松島湾エリアなど広域にわたる観光地域づくりの舵取り役である地域連携DMO等と協力し、感染症の状況を見据えながら、国内外からの誘客活動を実施してまいります。

観瀾亭・松島博物館におきましては、歴史文化を伝承する施設として、常設及び企画展を通じて松島の魅力発信に努めてまいります。さらに、夜の松島を生かした取組として、観瀾亭では中秋の名月を楽しむイベントを開催し、福浦橋では夜間のライトアップを実施することで、観光客が松島に長く滞在し、多くの方が町内に宿泊していただけるよう安全・安心に配慮しながら実施してまいります。

また、旅行の付加価値を高める地場産品を観光客に提供できる仕組みづくりの構築を目指し、「松島商談会」を「賞味会」と合わせて開催することで、第一次産業の振興とともに産業の総合的な活性化を図ってまいります。

農林業につきましては、農業振興について、国や県が示した生産の目安に基づき、需要に応じた米生産に向けた調整を行うとともに、コロナ禍により供給過多となっている主食用米の需要回復に向けた施策を実施するよう、国や県に働きかけてまいります。

また、担い手等への農地集積を推進し、経営基盤の強化を図りながら、高収益作物の作付促進や支援を行ってまいります。

地産地消の推進につきましては、地産地消実行委員会と協力しながら「まつの市」や「産業まつり」のイベント規模の見直しや販売方法など、感染症への対策を講じた上で、地場産品のPRに努めてまいります。

水産業につきましては、浅海漁業振興において、本年10月に開催される「全国豊かな海づくり大会」において、松島産カキの魅力を全国に発信するとともに、カキの安定供給及び安全安心のための衛生検査態勢を維持するための支援事業を継続してまいります。

また、アサリの稚貝散布と天敵貝の駆除作業についても、引き続き支援してまいります。

商工業につきましては、感染症の影響を受けている中小企業・小規模事業者の事業継続等を目的として、これまで多岐にわたる支援事業を展開してまいりましたが、今なお本来の情勢に回復していないことから、今後も引き続き感染状況や国・県の動向に注視し、利府松島商工会を始めとする各種関係団体と協力しながら、継続した経営支援を行ってまいります。

消費生活の安定と向上につきましては、依然として被害の多い特殊詐欺等の被害を未然に防ぐため、消費生活相談員による相談窓口や啓発活動等を実施してまいります。

企業誘致の推進につきましては、企業立地セミナー等を活用しながら、宮城県内での事業展開を検討している企業に向けたPR活動に引き続き努めるとともに、テレワーク等の働き方に応じた仕組みづくりについても取り組んでまいります。

定住促進につきましては、首都圏で開催される定住フェアへの参加や、宮城県が都内に設置するみやぎ移住サポートセンター等を通じて定住促進ガイドブックを配布するなどの情報発信を行うとともに、引き続き復興支援定住促進事業補助金を交付してまいります。

また、昨今主流になりつつあるオンラインによる移住相談窓口の設置に向けた準備を進めてまいります。

行財政につきましては、社会経済の情勢により大幅な減収が見込まれる中、全庁的な経費の見直しや事業の選択と集中により、歳出のスリム化・重点化を図ってまいります。

また、ふるさと納税事業につきましては、引き続き地元事業者の

協力を得ながら事業の推進及び返礼品の開発を行い、財源確保を図るとともに、本町の魅力を発信してまいります。

行政サービスの充実につきましては、国が推進する基幹系システムの仕様の標準化について、その動向を注視しつつ、次期システム更新に向けた準備を進めてまいります。

広域行政につきましては、国や宮城県に対する従来の広域要望に加え、感染拡大による地方への影響と厳しい現状等について、「地方の声」として届けるとともに、更なる感染症対策や支援策の充実等について、強く働きかけを行うため、広域連携の一層の強化を図ってまいります。

令和3年度当初予算内訳

■ 一般会計	5,630,000千円
■ 国民健康保険特別会計	1,859,509千円
■ 後期高齢者医療特別会計	210,354千円
■ 介護保険特別会計	2,026,730千円
■ 介護サービス事業特別会計	8,895千円
■ 観瀾亭等特別会計	82,741千円
■ 松島区外区有財産特別会計	1,285千円
■ 下水道事業特別会計	988,319千円
■ 水道事業会計	844,922千円
<hr/>	
■ 合計	11,652,755千円